

EOS MOVIE Plugin-E1 for Final Cut Pro

Ver. 1.1

クイックスタートガイド



● 本使用説明書上のおことわり

- 対象のカメラと名称をアイコンで示しています。
例：EOS-1D Mark IV → 1D Mk IV
- [] 内の語句は、パソコン画面上に表示されるメニューやボタン、画面の名称を示しています。
- : 注意事項です。
- : 補足説明です。

● このクイックスタートガイドについて

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- ソフトウェアの仕様および、本書の内容を予告なく変更することがあります。
- ソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

● 登録商標について

- Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- Final Cut Pro は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

● ページの移動

- 画面右下のマークをクリックします。
 : 次ページ
 : 前ページ



はじめに

本ソフトウェアは、EOS DIGITAL で撮影した MOV 形式動画を、アップル社のソフトウェア Final Cut Pro の **【切り出しと転送】** ウィンドウで、ProRes 形式のフォーマットに高速変換するためのプラグインソフトウェアです。

本ソフトウェアは Mac OS X 10.6.4 以降の環境下で、Final Cut Pro の Ver.6.0.6/7.0.2 以降に対応しています。また、対応パソコンは Intel プロセッサ搭載機のみで、PowerPC には非対応です。

Final Cut Pro の動作環境につきましては、アップル社のホームページ等でご確認ください。

ソフトウェアのインストール


- 1 本ソフトウェアのディスクイメージ (dmg ファイル) をダブルクリックする
- 2 画面の指示に従ってインストールを行う

メモリーカードのパソコン接続

EOS DIGITAL で動画撮影を行ったメモリーカードをそのまま市販のカードリーダーに差し込み、パソコンへ接続します。

→ デスクトップにアイコンが表示されます。

- ⚠ Final Cut Pro は、パソコンとメモリーカード内データが直接通信を行います。そのため、EOS Utility、または Memory Card Utility などのソフトウェアを使用して、パソコンに取り込んだ動画・静止画を扱うことはできません。
- メモリーカードは、EOS DIGITAL 本体で作成されるディレクトリ構造が保持されていないと Final Cut Pro に読み込むことはできません。

 メモリーカードをパソコンに接続後、ディスクユーティリティで、メモリーカードのディスクイメージ (dmg ファイル) を作成してマウントすると、オリジナルのメモリーカードをパソコンに接続しなくても **【切り出しと転送】** を行うことができます。



【切り出しと転送】 ウィンドウの表示とフォーマット変換

1 Final Cut Pro を起動し、【ファイル】 ▶ 【切り出しと転送】 を選び、【切り出しと転送】 ウィンドウを開く

2 【環境設定】 で 【EOS Movie】 を選ぶ

3 変換したいファイルを選び、【選択項目をキューに追加】 ボタンを押して取り込む

→ 変換したいファイルが、2 で指定した形式に変換されます。

● なお、【切り出しと転送】 ウィンドウの詳細については、Final Cut Pro のヘルプをご参照ください。

● 【切り出しと転送】 ウィンドウ上で、変換前ファイルの以下の撮影情報を表示することができます。

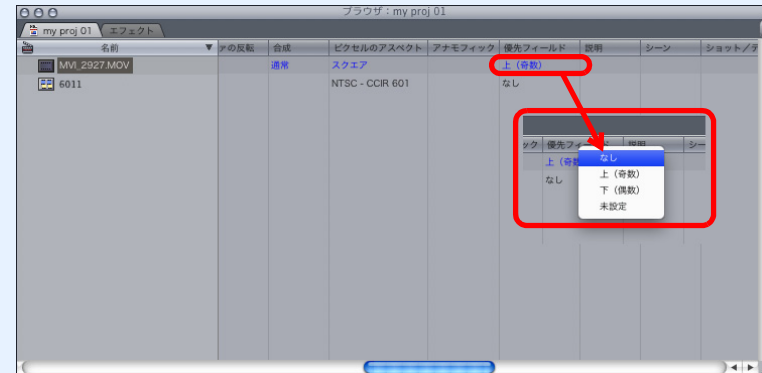
- ① 絞り数値 [Av (Aperture Value)]、② シャッター速度 [Tv (Shutter Speed)]、③ ISO 感度 [ISO Speed]、④ レンズ [Lens]、⑤ 焦点距離 [Focal Length]、⑥ カメラ名 [装置のモデル名]、⑦ シリアルナンバー [装置のシリアル番号]

なお、表示する撮影情報の項目は、ウィンドウ上の【名前】や【ボリューム】などの項目名を < control > + クリックで表示されるメニューから選択します。

● 保存先に同名のファイルがある場合は、変換したファイルは別の名前前で保存されます。

● EOS DIGITAL で撮影した MOV 形式動画を本プラグインで ProRes 形式に変換したときは、【タイムライン】上で編集する前に、必ず次の処理を行ってください。

- ① 【ブラウザ】画面上で ProRes 形式に変換したファイルを選択する
- ② 【優先フィールド】が【上 (奇数)】になっていたら、【なし】に設定する



● 対象機種 (1D Mk IV 5D Mk II 7D 60D) 以外のカメラで撮影した動画は、本ソフトウェアでは非対応です。



ソフトウェアを削除する（アンインストール）

- ソフトウェアの削除をはじめる前に、立ち上がっているすべてのソフトウェアを終了してください。
- ソフトウェアの削除を行うときは、インストールしたときのアカウントでログインしてください。
- 削除するフォルダやソフトウェアをゴミ箱に移動したときは、メニューの【Finder】▶【ゴミ箱を空にする】を選び、ゴミ箱を空にしてください。ゴミ箱を空にしていない状態では、ソフトウェアの再インストールはできません。

1 本ソフトウェアが保存されているフォルダを選択する

- 【Macintosh HD】▶【ライブラリ】▶【Application Support】▶【ProApps】▶【MIO】▶【RAD】▶【Plugins】フォルダ内にある【CanonE1.RADPlug】フォルダを選択します。

2 【CanonE1.RADPlug】フォルダをゴミ箱に移動する

3 デスクトップ上でメニューの【Finder】▶【ゴミ箱を空にする】を選ぶ

→本ソフトウェアが削除されます。

4 パソコンを再起動する

⚠ ゴミ箱を空にして削除したデータは復元することができません。十分に確認してから削除してください。

Final Cut Pro 対応一覧

機種		EOS 5D Mark II				
動画記録サイズ		1920x1080			1280x720	
フレームレート		30.00fps	-	-	-	-
対応	Final Cut Pro 6 *1	○	-	-	-	-
	Final Cut Pro 7 *2	○	-	-	-	-

機種		EOS 5D Mark II (ファームウェア Ver.2.0.3 以降)				
動画記録サイズ		1920x1080			1280x720	
フレームレート		29.97fps	25.00fps	23.976fps	-	-
対応	Final Cut Pro 6 *1	○	○	○	-	-
	Final Cut Pro 7 *2	○	○	○	-	-

機種		EOS-1D Mark IV /EOS 7D/ EOS 60D				
動画記録サイズ		1920x1080			1280x720	
フレームレート		29.97fps	25.00fps	23.976fps	59.94fps	50.00fps
対応	Final Cut Pro 6 *1	○	○	○	○	○
	Final Cut Pro 7 *2	○	○	○	○	○

*1 Ver.6.0.6

*2 Ver.7.0.2 以降

